

【報告】 計画作成に向けた調査や検討の状況をお伝えします

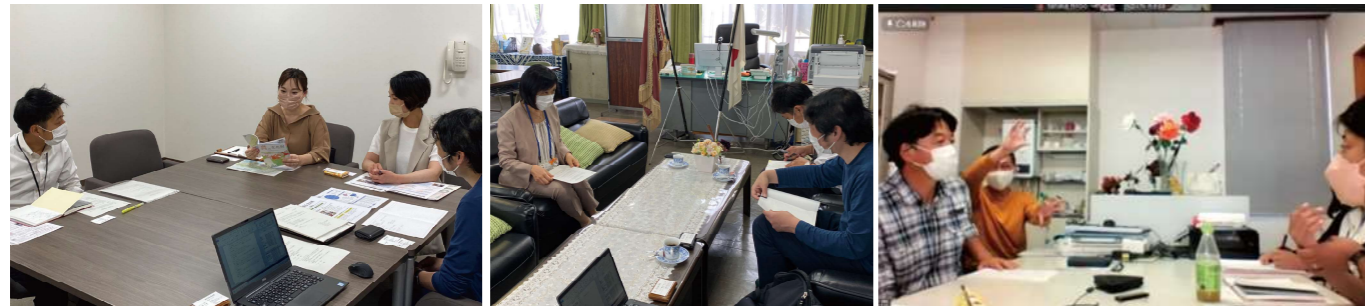
まちづくりワークショップ

市内の身近な文化財に対する理解を深めるとともに、保存・活用に関する多様な意見やアイデアを計画に反映することを目的に、様々なテーマ・地区でワークショップを実施しました。令和4年度は全7回のワークショップを開催し、まち歩きや体験教室、意見交換を行いました。



文化財を活かした取組についてのヒアリング

現在、文化財に関連する取組を行っている団体等を対象として現状の取組内容や課題等について、個別にヒアリングを実施しました。令和4年度は31団体・個人を対象に実施しました。文化財を持続的に継承していくためには、行政のみならず文化財に関わる様々な主体と連携していく必要があります。今後もヒアリングを通して、意見交換をしながら連携の輪を広げていきたいと考えています。



くれ文化遺産コンシェルジュ

呉市で実施した「くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座」を受講し、日本遺産、文化財等に関する専門知識を有する修了生を「くれ文化遺産コンシェルジュ」として認定をしています。コンシェルジュは現在70名が登録しており、市内の文化財の保存・活用の担い手となることを目指して、活動を行っています。



呉市文化スポーツ部文化振興課文化グループ

電話：0823-25-3463 FAX：0823-24-9807 E-mail：bunsin@city.kure.lg.jp

～地域の魅力を次代に紡ぐ～
呉市文化財保存活用地域計画

令和4年度 検討概要版

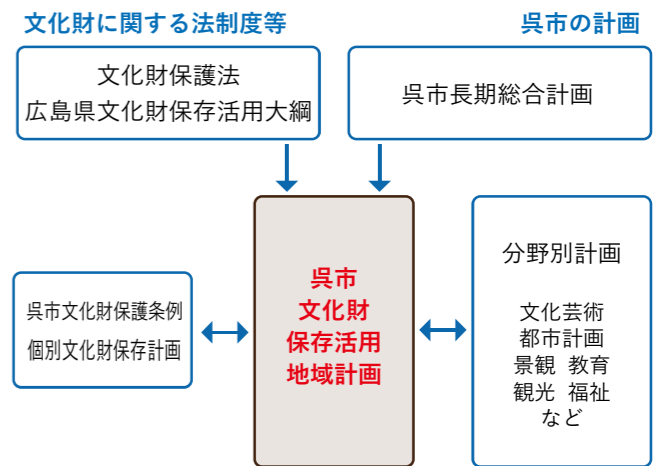
呉市では、文化財の保存・活用に関して、将来ビジョンや具体的な事業等の実施計画を定めるために、文化財保存活用地域計画の策定を進めています。継続性・一貫性のある保存・活用、地域住民と一体となって進める文化財を活かしたまちづくりの実現を目的とします。



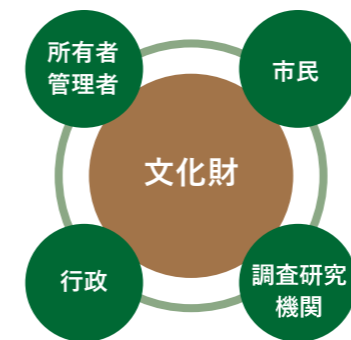
呉市文化財保存活用地域計画とは

「呉市文化財保存活用地域計画」は、文化財保護法にもとづく、呉市における文化財の保存と活用の法定計画であり、呉市の総合計画の下に体系づけられるものです。日本遺産などの既存の取組を活かし、文化財だけでなく、観光や都市計画など多様な分野との連携を図ります。

本計画は、文化財の保存・活用に関して、呉市が目指す将来ビジョンや長期的な基本方針を定めるマスタープランであるとともに、具体的な事業を記載するアクションプランとなります。



呉市の文化財の保存・活用に向けて



文化財を中心とした主体間の連携

全国的にも人口減少や少子高齢化が進み、地域への愛着や連帯感の希薄化・後継者や担い手不足が生じ、歴史的建造物の消失や地域固有の祭礼行事や風俗習慣の消失など、文化財を取り巻く危機的状況が顕在化してきています。

所有者や行政だけでなく、住民や地域の団体、市内外の事業者や研究者などの様々な人々・組織などが参加・連携・協働し、歴史文化を本市のまちづくりの「核」として機能させることで、歴史文化を未来へつなげ、活力ある住みよい呉市を実現するための原動力を創ることを目的とします

令和6年度の計画認定を目指します

令和3年度から3年間で検討・作成を行い、令和6年度に文化庁長官による認定を目指します。令和4年度はヒアリングやワークショップを通して、市内の様々な関係者のご意見等をお伺いしながら、歴史文化の特徴やテーマを整理し、目指す将来像や課題・方針など、計画の骨格を作成しました。

令和4年度の検討経緯

Table with 3 columns: Year, Date, and Event/Meeting details.



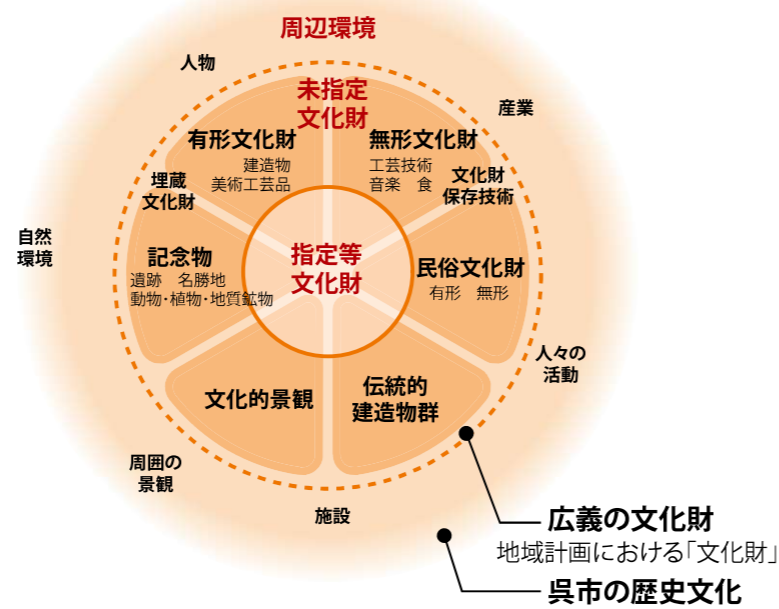
学識者・関係団体等により構成される呉市文化財保存活用地域計画策定協議会

地域計画における「文化財」

文化財保護法では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6種類が定められ、指定文化財として保護されています。

計画においては、指定の有無に関わらず、市域に広がる歴史的・文化的・自然的遺産を**広義の文化財**として捉え、価値や魅力を高め、まちづくりに活かすことで未来に継承していくことを目指します。

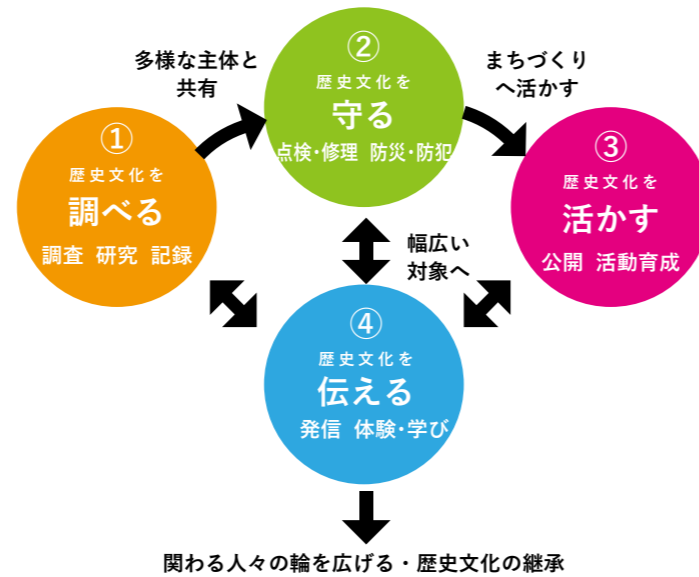
文化財は、周囲の景観、人々の活動や施設、産業等の文化財を取り巻く周辺環境と一体となって、価値を高めます。文化財および周辺環境を**呉市の歴史文化**とし、文化財の保存・活用を通して、歴史文化を未来へ継承していくことを目指します。



文化財の保存と活用の基本的な考え方

歴史文化が地域の人々の核となり、多様な人々の参画を促しながら、持続的に歴史文化を継承していくことを目指します。

- ①歴史文化を調べる** 歴史文化の所在や価値を明確にし、関心や理解の促進を図ります。
- ②歴史文化を守る** 多様な主体が価値を共有し、協働して取り組みます。
- ③歴史文化を活かす** 歴史文化の持つ価値をまちづくりに活かします。
- ④歴史文化を伝える** それぞれの段階で市内外へ幅広く発信し、保存・活用に関わる人々の輪を広げていきます。



文化財の一体的・総合的な保存・活用

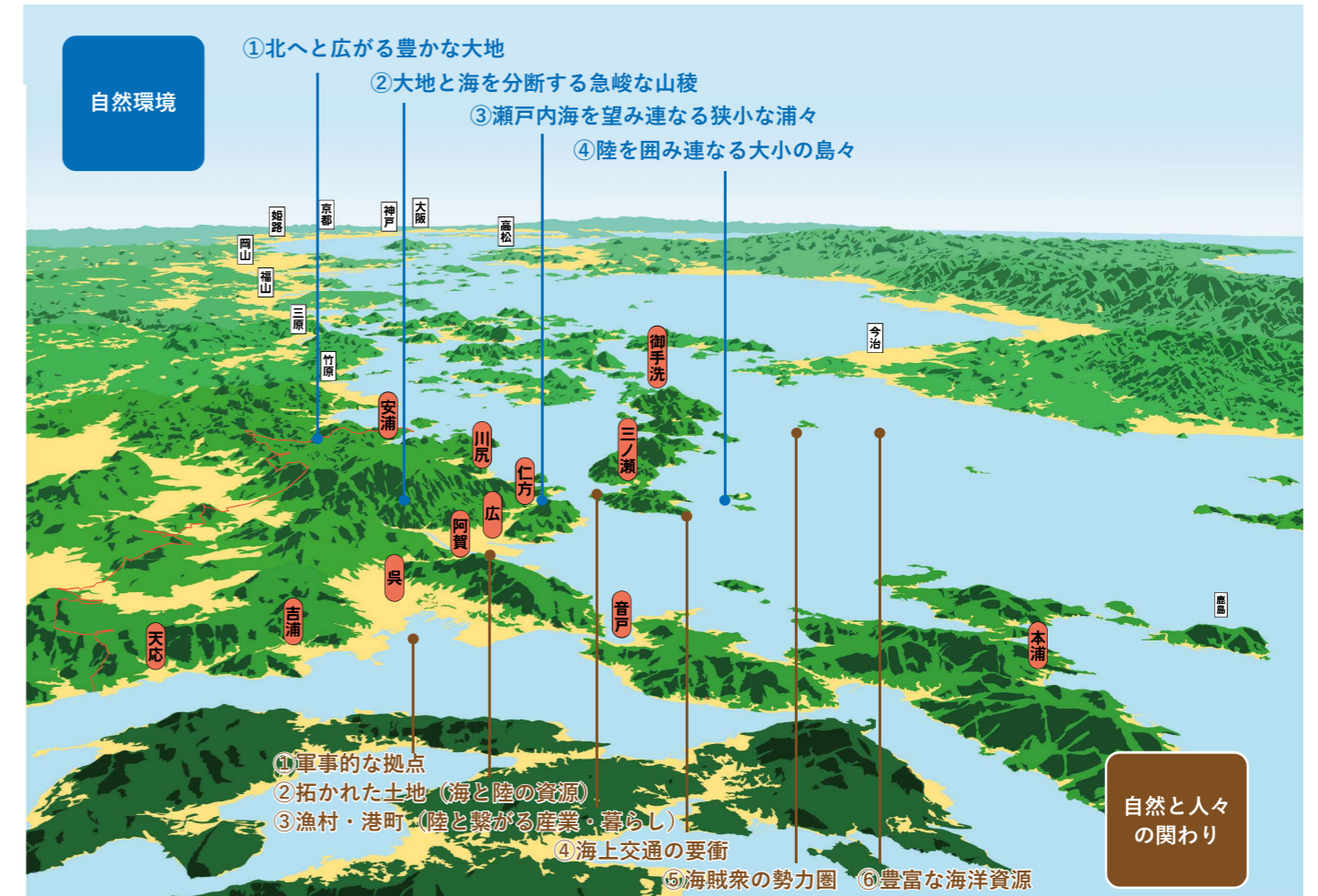
計画では、呉市の歴史文化の特徴を整理し、それにもとづく保存・活用のテーマである「関連文化財群」を設定します。歴史的・文化的・地理的な関連性をテーマを設定することでまとまりとして捉え、呉市の歴史文化を活かして、一体的・総合的に保存と活用を行っていきます。

歴史文化の特徴 地域固有の風土のもと、先人によって生み生まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知識・経験・活動等の成果及びそれが存在する環境を総体的に把握した概念を指します。地域の歴史や文化にまつわるコンテキストであり、地域らしさや地域の特色を表します。

関連文化財群 歴史文化の特徴に基づき、指定・未指定に関わらず多様な文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたものです。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用することで、相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を明らかにすることができます。

呉市の歴史文化の特徴

呉市は、陸地部と島しょ部からなり、瀬戸内海に望み、平坦地は少なく、山地がせまり、大小の河川が流れるなど、険しくも非常に豊かな自然環境を有しています。長い歴史のなかで、これら自然環境を土壌として、多様な地域性を活かした暮らしや生業が築かれてきました。



- ① 歴史文化を育む 険しく豊かな自然**
- ② 海とともにある暮らし 海を恵みと捉え 狭小な浦々を 生活の場 として形成された呉**
- ③ 瀬戸内海航路の結節点 海を道と捉え 連なる島々を中心に 結節点 として形成された呉**
- ④ 海上の軍事拠点 海を戦場と捉え 海と山が織りなす地形を 軍事拠点 として形成された呉**

関連文化財群 保存・活用のテーマ

4つの歴史文化の特徴から、文化財群のまとまりとして7つのテーマを抽出しました。これらのテーマごとに、歴史文化を継承するための取組を行っていきます。

- ①-1 海と島と山が織りなす絶景** 呉市を形作る雄大な自然、人々の営みによって育まれた景観
- ②-1 海の恵みを求め根付いた原始の営み** 瀬戸内海の成り立ちと原始の呉の営み、海の恵みを活かし海を通じた交流により発展する社会
- ②-2 山野河海を拓き獲得してきた大地の恵み** 豊かさを求め拓かれた土地、災害と向き合い暮らしを潤す治水・利水事業
- ②-3 海に祈る多彩な信仰と地域に根付いた暮らし** 海に祈る祭礼や習俗、地域の暮らしを伝える多彩な祭礼や習俗
- ③-1 海の往来とともに栄えた産業と町並み** 地場産業と共に栄えた町並み、船の往来と共に栄えた港町
- ④-1 戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点** 戦国の争乱と呉衆の活躍、呉衆の解体と小早川氏領国下の呉
- ④-2 鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾** 軍港都市への変貌、海軍と共に激動する呉の人々の営み、現代に引き継がれる近代の礎